

新人事制度（当行版「ジョブ型」）の導入について

株式会社山梨中央銀行（頭取 関 光良）は、中期経営計画「Value+2022」における施策として、約20年ぶりとなる人事制度改定を行います。

当行は、「職員一人ひとりの活力向上に繋がる人事運営」と「専門性が発揮できる人材の育成」を促進し、新たな価値を創造し続ける金融グループの実現を目指してまいります。

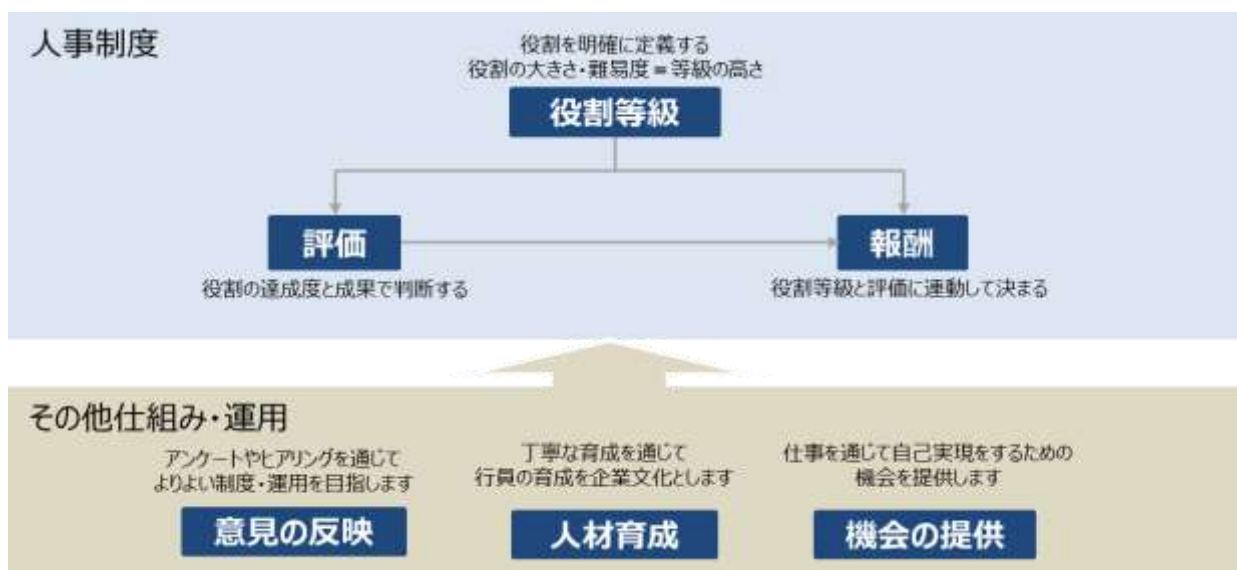
1. 新人事制度の概要

【当行版「ジョブ型」（役割等級制度）の導入】

行員の保有能力による年功的処遇ではなく、役割の大きさによって等級を決定し、評価を行い、報酬に連動させます。

役割はマネジメント職・プロフェッショナル職などに4分類し、プロフェッショナル職には、さらに細分化した6つのプロコースを設け、専門人材の育成を促進するとともに、より専門的な知識が必要なシステム分野などに特化した、新たな採用ルートも新設します。

評価においては、新たに導入するタレントマネジメントシステムを活用し、評価のプロセスを通じて、上司・部下間のコミュニケーションや人材育成の質を高めていきます。



2. 実施予定日

2021年10月1日

以上